



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月6日

上場会社名 株式会社ミダック 上場取引所 東 名  
 コード番号 6564 URL http://www.midac.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 恵子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 廣明 TEL 053-488-7173  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,563	11.5	650	24.3	645	23.9	353	38.7
2021年3月期第1四半期	1,402	14.3	523	50.6	520	57.9	255	53.4

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 353百万円 (38.7%) 2021年3月期第1四半期 255百万円 (53.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	13.31	13.30
2021年3月期第1四半期	9.68	—

(注) 1. 2021年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していませんので記載していません。  
 2. 2021年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で、株式分割を行っております。これに伴い、2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	14,458	5,810	40.2
2021年3月期	14,222	5,522	38.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 5,807百万円 2021年3月期 5,520百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	0.00	—	2.50	2.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
 配当予想につきましては、2021年5月25日付の「株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおりであります。  
 2. 2021年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で、株式分割を行っております。これに伴い、2022年3月期の配当予想における1株当たり配当金2円50銭につきましては当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2022年3月期の配当予想における1株当たりの年間配当金は5円00銭となります。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,995	7.1	1,060	16.0	1,031	14.5	589	25.1	22.16
通期	6,003	5.3	2,140	13.6	2,082	12.7	1,186	16.4	44.60

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 2021年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で、株式分割を行っております。これに伴い、第2四半期（累計）及び通期の業績予想における1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	26,773,500株	2021年3月期	26,773,500株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	179,360株	2021年3月期	179,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	26,594,220株	2021年3月期1Q	26,352,733株

（注）2021年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で、株式分割を行いました。2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が適用される等、引き続き経済活動に制限がかかる状況が続いており、ワクチン接種の普及による経済活動の本格的な再開が期待されるものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

廃棄物処理業界におきましては、製造業を中心に輸出と生産は増加基調にあり、生産活動の回復に伴い、廃棄物受託量も徐々に増加してまいりました。一方で、飲食店等につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大が客足にも影響し、廃棄物の排出に関しては依然として低調な推移となりました。

このような状況の下、当社グループは、引き続き収集運搬から最終処分までの廃棄物一貫処理体制を基盤とし、経済活動が停滞するコロナ禍においても、自社が保有する多数の処理施設と許可の優位性を発揮することで、廃棄物の受託量の確保に努めてまいりました。

営業部門におきましては、引き続き営業活動が制限されるなかでも、コロナ禍でも堅調な業種及び取引先に対して効率的な営業を展開することで廃棄物受託量の確保に努めてまいりました。

処理部門におきましても、コロナ禍での感染対策を実施しつつ、廃棄物の受入体制の強化に努めたほか、原価低減に向けた各種取り組みを積極的に推進してまいりました。

新規管理型最終処分場である奥山の杜クリーンセンターにおきましては、2022年4月以降の稼働に向けて工事は着々と進捗しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,563百万円(前年同期比11.5%増)、営業利益は650百万円(同24.3%増)、経常利益は645百万円(同23.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は353百万円(同38.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 廃棄物処分事業

自治体、製造業等から排出される廃棄物の受託量が増加し、各中間処理施設の稼働率は向上しました。最終処分場を運営する連結子会社である株式会社ミダックはまなにおきましても、旺盛な埋立需要を取り込むことで、受託量は増加しました。以上の結果、売上高は1,344百万円(同15.0%増)となり、セグメント利益は737百万円(同22.5%増)となりました。

## ② 収集運搬事業

産業廃棄物においては、前期の大型工事案件の反動減もあり、受託量は減少しました。また、一般廃棄物においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、回復には至らず受託量は前期並みの推移となりました。以上の結果、売上高は182百万円(同4.4%減)となり、セグメント利益は38百万円(同7.3%減)となりました。

## ③ 仲介管理事業

前期の大型工事案件の反動減により、協力会社への仲介は低調に推移しました。以上の結果、売上高は35百万円(同14.3%減)となり、セグメント利益は42百万円(同3.8%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,365百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による現金及び預金の増加額81百万円等によるものであります。また、固定資産は9,092百万円となり、前連結会計年度末に比べ198百万円増加しました。これは主に、建設仮勘定の増加額333百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、14,458百万円となり、前連結会計年度末に比べ236百万円増加しました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円増加しました。これは主に、預り金などその他流動負債の増加額430百万円、未払法人税等の減少額285百万円等によるものであります。

また、固定負債は2,402百万円となり、前連結会計年度末に比べ148百万円減少しました。これは主に、長期借入金の減少額141百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、8,647百万円となり、前連結会計年度末に比べ51百万円減少しました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,810百万円となり、前連結会計年度末に比べ288百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益353百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額287百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月14日付の「2021年3月期 決算短信」にて公表しました連結業績予想から修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,293,770	4,375,585
受取手形及び売掛金	718,665	686,188
棚卸資産	46,085	53,343
その他	271,192	250,955
貸倒引当金	△1,727	△568
流動資産合計	5,327,987	5,365,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	503,351	495,710
機械装置及び運搬具（純額）	462,792	451,299
最終処分場（純額）	643,423	613,611
土地	1,845,610	1,845,610
建設仮勘定	3,414,256	3,747,728
その他（純額）	38,076	38,768
有形固定資産合計	6,907,511	7,192,729
無形固定資産		
のれん	1,147,805	1,085,199
施設設置権	200,500	190,475
その他	21,616	19,975
無形固定資産合計	1,369,921	1,295,649
投資その他の資産		
その他	616,860	604,540
投資その他の資産合計	616,860	604,540
固定資産合計	8,894,293	9,092,918
資産合計	14,222,281	14,458,423

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	56,270	45,894
短期借入金	4,337,500	4,337,500
1年内償還予定の社債	28,000	28,000
1年内返済予定の長期借入金	567,228	567,228
未払法人税等	485,090	199,123
賞与引当金	78,531	40,903
その他	595,323	1,026,137
流動負債合計	6,147,943	6,244,785
固定負債		
社債	46,000	39,000
長期借入金	1,725,572	1,583,765
最終処分場維持管理引当金	649,019	657,988
資産除去債務	108,596	109,177
その他	22,228	12,749
固定負債合計	2,551,417	2,402,681
負債合計	8,699,360	8,647,466
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	752,971	752,971
資本剰余金	1,499,772	1,499,772
利益剰余金	3,327,635	3,614,998
自己株式	△60,018	△60,489
株主資本合計	5,520,360	5,807,253
新株予約権	2,559	3,702
純資産合計	5,522,920	5,810,956
負債純資産合計	14,222,281	14,458,423

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,402,411	1,563,652
売上原価	511,687	529,529
売上総利益	890,724	1,034,123
販売費及び一般管理費	367,620	384,059
営業利益	523,103	650,063
営業外収益		
受取利息	88	80
不動産賃貸料	3,795	3,510
固定資産売却益	5,070	6,055
その他	4,622	3,653
営業外収益合計	13,576	13,300
営業外費用		
支払利息	13,507	15,856
その他	2,552	2,480
営業外費用合計	16,059	18,336
経常利益	520,620	645,027
税金等調整前四半期純利益	520,620	645,027
法人税等	265,420	291,178
四半期純利益	255,199	353,849
親会社株主に帰属する四半期純利益	255,199	353,849

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	255,199	353,849
四半期包括利益	255,199	353,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	255,199	353,849

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。当会計基準の適用による当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過措置に従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(2020年3月31日)第28-15項に定める経過措置に従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。当会計基準の適用による当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,169,298	191,461	41,651	1,402,411	—	1,402,411
セグメント間の内部売上 高又は振替高	44,538	36	53,099	97,673	△97,673	—
計	1,213,836	191,497	94,750	1,500,084	△97,673	1,402,411
セグメント利益	602,171	41,368	44,230	687,770	△164,667	523,103

(注) 1. セグメント利益の調整額△164,667千円は、セグメント間取引消去10,817千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175,485千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	1,344,972	182,996	35,684	1,563,652	—	1,563,652
外部顧客への売上高	1,344,972	182,996	35,684	1,563,652	—	1,563,652
セグメント間の内部売上 高又は振替高	53,258	36	64,302	117,597	△117,597	—
計	1,398,230	183,032	99,987	1,681,250	△117,597	1,563,652
セグメント利益	737,466	38,331	42,542	818,340	△168,276	650,063

(注) 1. セグメント利益の調整額△168,276千円は、セグメント間取引消去10,622千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△178,899千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。